

YOTUKA

取扱説明書

改訂版①

電動除雪機

YS-GM921701

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、
内容を理解してからお使いください。



WEB でチェック！

最新の取説及び
本製品の操作の仕方などを
ご覧いただけます。



HAIGE

目次

はじめに	3	運転操作の仕方	20
安全上のご注意	3	前後進の方法	20
製品を長くご愛顧いただくために	3	走行しながら速度調整をする方法	21
安全にお使いいただくために	4	走行しながらの旋回方法	21
除雪機に係る安全事項	4	手押しによる旋回方法	22
除雪機の作業に係る安全事項	4	除雪クラッチレバーのロック方法	22
バッテリーパック、充電器に係る安全事項	5	除雪作業の仕方	23
安全ラベル	6	除雪作業の終了	25
主要諸元	7	除雪中に減速、停止したら	25
リサイクル	7	シーズンが終了したら	26
各部の名称	8	点検・整備の仕方	27
梱包部品一覧	9	各部の異音の点検	27
組立て	10	各部の緩みやガタツキの点検	27
上ハンドルの取付け	10	各部の破損・欠落の点検	27
シュータの取付け	11	シュータの点検	27
準備	12	オーガの点検	28
バッテリーパックの取付け	12	シャーピンの交換	28
バッテリーパックの取外し	13	スクレーパーブレードの点検・交換	29
各部の取扱い	14	お手入れ	30
電源ボタン	16	保管	30
走行クラッチレバー	16	故障かな?と思ったら	31
除雪クラッチレバー	16	消耗品・部品一覧	32
前後進速度調整レバー	16	保証内容について	34
オーガ回転速度調整レバー	17	お客様ご相談窓口	35
シュータデフレクタ角度調整レバー	17		
シュータ回転ボタン	17		
バッテリーインジケータ	17		
LED ライトボタン	18		
ヒートハンドルボタン	18		
ソリ	19		

はじめに

このたびは電動除雪機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。また故障に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱いや定期点検、保守を行ってください。

注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

除雪機に係る安全事項

警告



禁止

- 本機は、除雪をする機械です。指定された用途以外には使用しないでください。
- 改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。
- 正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。
- 未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。
- 成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
- 運転中に回転部及び可動部に手や足及び衣類を絶対に近づけないでください。触れると巻き込まれ重大な事故の恐れがあります。
- 運転中は絶対シュータやオーガハウジングを覗き込まないでください。
- レバーハンドルを紐などで固定しないでください。



指示

- 始動前点検を実施してください。
- 本機をご使用になる前に、始動、停止の仕方を覚えてください。
- 可動部分の位置及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他動作に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- レバーハンドルを握っていないときは、オーガが回転していないことを確認してください。
- 使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- 回転しているオーガに接触すると負傷または死亡する恐れがあります。
- 点検整備を行なう場合はバッテリーパックを抜いてください。不意に始動すると、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 破損した部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故・怪我の原因になることがあります。
- 長期保管する場合は、バッテリーパックを満充電にし、6 ヶ月に一度は満充電にしてください。
- 屋内で、湿気の少ないところに保管してください。
- 子供の手の届かない安全な場所に保管してください。
- ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱いの注意事項をよくご理解の上で使用ください。

注意



禁止

- 専用のバッテリーパック以外は使用しないでください。
- 安全保護装置であるガード及びカバーを取外して運転をしないでください。



指示

- 使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
- 部品交換は、純正部品を使用してください。
- 定期点検整備を行ってください。

除雪機の作業に係る安全事項



警告



禁止




- 身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- ご使用時は、使用者から 15m 内は危険です。人やペットが入らないようにしてください。
- 運転区域には、全ての人、幼児、子供、ペット等を入れないでください。
- 人にシュータやシュータデフレクタを向けないでください。また、除雪機の前方に人を入れないでください。

安全にお使いいただくために

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。・砂利道は石が飛び出すなど危険です。除雪しないでください。・雪の中に石が混入していると遠くまで飛ぶ事があるので十分注意してください。・オーガやシュータやに顔や手足、衣服などを近づけないでください。・傾斜面を横切って除雪しないでください。・坂道での除雪や停車はしないでください。・可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。・走るような操作はしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・雪が降る前に運転区域内の木片、缶、ホース、線材、ナワ及びその他の異物等をすべて除去してください。・ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。・建物、自動車及び破損の恐れがある建造物の周囲で除雪をするときは、それらの方向に排出された雪が当たらないようシュータの方向、シュータデフレクタの角度を調整して運転をしてください。・停止中でも、オーガに触れないでください。怪我をする恐れがあります。・適切な時期に休憩をとってください。・万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。・移動するときは、オーガの回転を止めてください。・危険を感じたり、予測される場合も、必ず停止してください。・除雪部が異物に突き当たったり、巻きついた場合には、速やかに停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、除雪機が損傷していないかを調べてください。損傷があった場合には、完全に補修した後でなければ除雪機を再始動しないでください。・オーガハウジングやシュータなどに詰まった雪を取除くときは、バッテリーパックを取外し、誤って始動しないようにしたうえで、雪かき棒を使って取除いてください。・滑りにくい靴、手袋、保護メガネ、保護帽などの作業に適した服装を心掛けてください。・坂道の走行には注意してください。・後方へ走行するときは、足元及び背後の障害物に十分注意し、転倒したり障害物に挟まれないように運転をしてください。・除雪時は操作に集中し、特にバック時は、滑らないよう足元にご注意ください。・除雪機を輸送したり、使用しない時、停止するときは、オーガハウジングを接地させてください。・作業中は屋根などからの落雪に十分ご注意ください。

バッテリーパック、充電器に係る安全事項

★バッテリーパック、充電器の取扱説明書を必ずお読みください。

 警告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">・充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。・必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。・バッテリーパック、充電器を分解しないでください。・バッテリーパックの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。・使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。・バッテリーパックを火のそばや炎天下など周囲温度が40℃を上回る環境下で充電・使用・保管をしないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 指示	<p>その他、詳細はご購入のバッテリーパック、充電器の取扱説明書をご覧ください。</p>

安全ラベル

本機に下記の安全に関するシールが貼付けされています。

ご使用前にご確認ください。

なお、シール内容は改良など諸条件により予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。



警告

運転中はシュータに絶対に手を入れないでください。停止中でも、手で詰まりを取除かないでください。

オーガが回転中は絶対に手足を入れないでください。
 ●オーガ内の雪の詰まりを取除く際は、必ず電源スイッチを切ってください。
 ●オーガ内の雪の詰まりは、木の棒等で取除いてください。

シュータは人やペット、建物に向けてください。

危険を感じたらすぐ電源スイッチを切ってください。
 ●本機から離れる際は、必ず電源スイッチを切ってください。

警告

バッテリーは、火気の側や日の当たる窓辺、高温になる場所での充電・保管は絶対に行わないでください。

注意

- 運転前にバッテリーを満充電にし、使用する直前まで屋内に保管してください。
- 作業終了後もバッテリーを満充電にしてください。
- 気温が-20℃以下の場合、バッテリーが正常に起動しない場合があります。その場合は、本体からバッテリーを一旦取外し、屋内で場所でバッテリーを10分以上温めてください。(火気の側や熱湯の筒で温め厳禁!)
- その後、バッテリーを取付け直して、もう一度お試しください。
- バッテリーを屋外で保管又は充電をしないでください。



主要諸元

モデル名	YS-GM921701
定格電圧	54V (MAX62V)
モーター	ブラシレスモーター
モーター出力	シュータモーター：最大 3500W 走行モーター：最大 600W ステアリングモーター：最大 10W
無負荷回転数	ブローア（ファン）：1300-1450min-1 走行モーター：8000min-1 ステアリングモーター：7500min-1 オーガ：130-145min-1
走行	自走式 無段階速度調整
走行速度（前進）	1.2~4.2km/h
走行速度（後進）	1.8km/h
除雪幅	610mm
除雪高	510mm
ブローア周速	最大 21m/s
投雪方向	200°
投雪距離	距離：1～15m 高度：0.5～3.5m
シュータデフレクター角度	-5°～55°（5段階）
シュータ操作	手動ハンドル（操作パネル）
オーガ材質	Q235 スチール
連続運転時間（満充電）*	8Ah バッテリー 1 個で約 30 分（2 個で約 60 分）
充電時間	約 135 分
防水等級	IPX4
タイヤサイズ	15 インチ（381mm）
重量	66kg（バッテリー除く）
サイズ（幅 × 奥行 × 高さ）	660 × 1410 × 1040mm（ハンドル高さ中間時）




*無負荷連続運転時の数値（走行最速、オーガ回転数最大、ヘッドライト全点灯）です。使用環境、使用状況、バッテリーの状態等により使用時間は異なります。

◎ハイガーは、顧客満足度 100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。

そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。

また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

リサイクル

	分別して収集してください。通常のごみと一緒に廃棄しないようにしてください。製品を交換する必要がある場合、または使用しなくなった場合は、ごみと一緒に廃棄しないようにしてください。この製品を分別収集できるようにしてください。
	使用済みの製品と梱包材を分別収集することで、材料をリサイクルして再び使用することができます。リサイクルされた材料の使用は環境汚染を防ぎ、原材料の必要量を減らします。
 Batteries Li-ion	耐用年数の終わりには、環境に配慮してバッテリーを廃棄してください。バッテリーには、お客様と環境にとって危険な物質が含まれています。リチウムイオン電池を使用する機器では、これらの材料を別々に取外して廃棄する必要があります。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

A. 本体・上ハンドル・シュータ



B. 充電器★



C. バッテリーパック★



D. 工具



E. シャーピン (予備)



※写真はプロトタイプのため、製品仕様・カラーが変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

★セット品のみ同梱となります。

組立て

⚠️ 注意

- 組立てを行うときは、必ずバッテリーパックを外してから行ってください。
- 作業中に始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 組立後は、すべての部品が確実に取付いていることを確認してください。

上ハンドルの取付け

下ハンドルに上ハンドルを取付けます。

⚠️ 注意

ハンドルを取付ける際、コードを強く引っ張ったりしないでください。破損の原因になります。

- 1** 下ハンドルに仮留めしている左右4カ所のハンドル固定ノブ、ボルトを一旦取外します。



- 2** 下ハンドルに上ハンドルをかぶせ、取付穴を合わせ内側からボルトを通します。このとき、3本のコードが下ハンドルの上に来るようにします。

ハンドルの高さは3段階あり、写真では中央にしています。



- 3** 外側からハンドル固定ノブを取付け、4カ所のハンドル固定ノブを均等に締付けます。



組立て



- 4** コードホルダーを上ハンドルと下ハンドルに取り付けます。



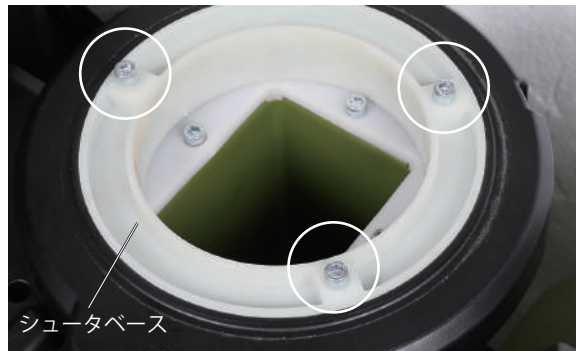
- 5** 走行クラッチレバー、除雪クラッチレバーを固定している結束バンドを慎重に切断します。



シュータの取付け

本体にシュータを取付けます。

- 1** シュータベースに仮留めしている3カ所の六角ボルトを一旦取外します。



- 2** シュータをシュータベースに載せます。



- 3** 取付穴を合わせ、六角ボルトを取付け六角レンチで3カ所均一に締付けます。



準備

警告

- バッテリーパックの充電中は発生したガスに引火し爆発することがあります。火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。
- 屋外に保管したり充電したりしないでください。
- 必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。
- バッテリーパック、充電器を分解しないでください。
- バッテリーパックの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーパックは使用しないでください。
- 周囲温度が 50℃を上回る環境下にて充電・使用・保管をしないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリーパックまたは充電器が損傷している場合は、交換してください。
- バッテリーパックの取付けまたは取外しを行う前に本機を停止し、モーターの回転が停止するまで待ってください。
- バッテリーパックと充電器の取扱説明書を読んで理解してからご使用ください。

バッテリーパックの取付け

お買い上げ時は、バッテリーパックは十分に充電されていません。ご使用前に専用の充電器で正しく充電してからご使用ください。

充電の仕方は、バッテリーパックと充電器の取扱説明書をご覧ください。

注意

- バッテリーは重量があります。挿入する際、落下させないように十分ご注意ください。
- バッテリーケース内に雪や水が入らないようご注意ください。

- 1 バッテリー挿入口カバーを開きます。カバーは開いた状態では固定されません。



- 2 バッテリー挿入口の溝にバッテリーパックを合わせ、スライドさせ 1 個または 2 個挿入します。



- 3 「カチッ」と音がするまで押込みます。



準備



- 4** バッテリー挿入口カバーを閉じます。確実に閉めてください。



バッテリーパックの取外し

- 1** リリースボタンを解除するとバッテリーが上に飛び出します。



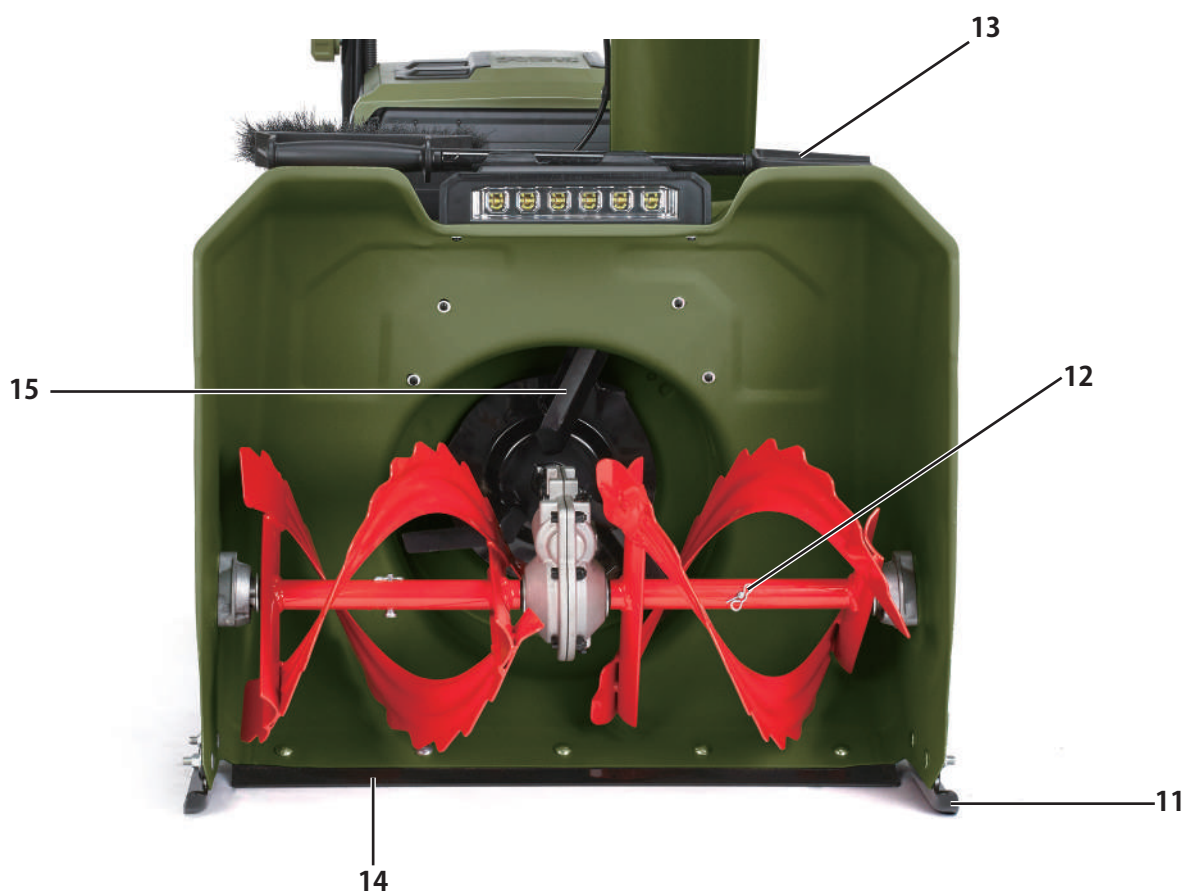
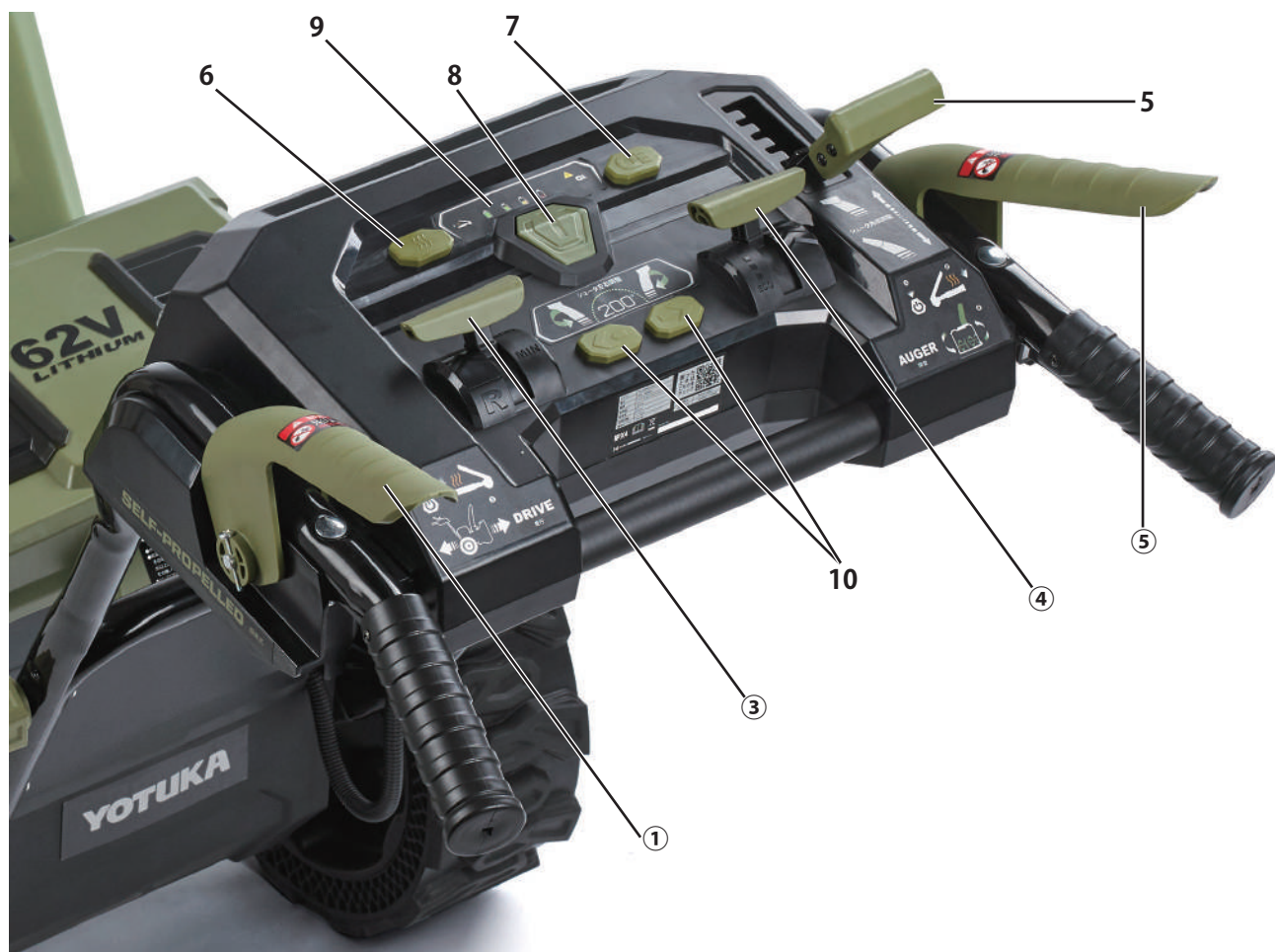
- 2** バッテリーパックを慎重に引抜きます。



⚠ 注意

- バッテリーは重量があります。取出す際、落下させないように十分ご注意ください。
- バッテリーケース内に雪や水が入らないようご注意ください。

各部の取扱い



各部の取扱い

No.	名称	機能と目的
①	走行クラッチレバー	レバーを握ることで走行が開始されます。放すと停止しする安全機能デッドマンクラッチを採用。
2	除雪クラッチレバー	レバーを握ることで除雪が開始されます。放すと停止しする安全機能デッドマンクラッチを採用。
③	前後進速度調整レバー	前進は無段階で速度調整が可能です。後進は1速となります。
④	オーガ回転速度調整レバー	無段階で回転速度調整が可能です。
⑤	シュータデフレクタ角度調整レバー	シュータデフレクタを上下に調整（5段階）して、雪の飛距離を調整します。
6	ヒートハンドルボタン	ボタンを押すとランプが点灯しハンドルが温かくなります。もう一度押すと停止します。約1分間操作を行わないと自動で停止します。
7	LED ライトボタン	ボタンを押すとランプが点灯しヘッドライト、サイドライトが点灯します。もう一度押すと消灯します。約1分間操作を行わないと自動で消灯します。
8	電源ボタン	ボタンを押すことで電源が入ります。約5秒間操作を行わないと電源が切れます。
⑨	バッテリーインジケータ	電源ボタンを押すとバッテリーの残量が表示されます。
10	シュータ回転ボタン	左に100° 右に100°の範囲でボタンを押している間回転します。
11	ソリ	オーガハウジングの高さを調整することで、路面状況にあった除雪が可能になります。
12	シャーピン	雪の圧力や異常な力がかかった時等に、シャーピンが折れることでオーガやギヤを保護します。
13	雪かき棒	オーガやシュータに詰まった雪や付着した雪を取除くための道具です。オーガが完全に停止し、バッテリーパックを抜いた状態で行ってください。
14	スクレーパーブレード	雪をオーガハウジング内にスムーズに掻き込むためのブレードです。また、ハウジングの保護の役目もあります。
15	ブロア	オーガ内に掻き込んだ雪をスムーズにシュータより排出するためのファンです。

※ No. ①③④⑤⑨は、No.8の電源ボタンを押さないと動作しません。

各部の取扱い

電源ボタン

- 1 ボタンを押すと電源が ON になります。



- 2 ボタンを押した後、約 5 秒間操作を行わないと自動で電源が OFF になります。

走行クラッチレバー

- 1 電源ボタンを押し、レバーを握ることで走行が開始されます。



- 2 レバーを放すと停止します。

警告



クラッチレバーを紐で縛ったり、クリップで固定したりしないでください。大変危険です。

除雪クラッチレバー

- 1 電源ボタンを押し、レバーを握ることでオーガの回転が開始されます。



- 2 レバーを放すと停止します。

警告



クラッチレバーを紐で縛ったり、クリップで固定したりしないでください。大変危険です。

前後進速度調整レバー

- 1 前進は無段階、後進は 1 段階の走行速度を変えることができます。



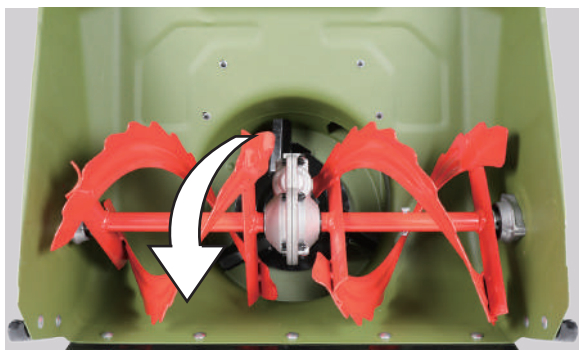
注意

除雪するときは速度を落としてください。

各部の取扱い

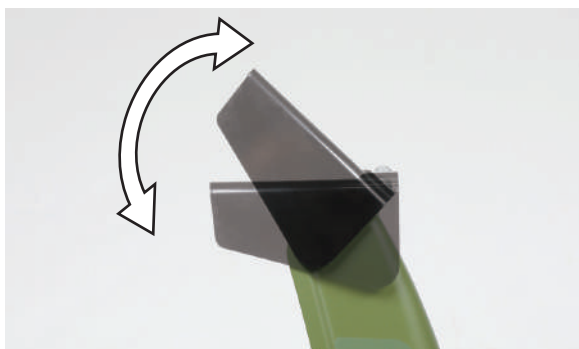
オーガ回転速度調整レバー

- 1 電源ボタンを押し、レバーを操作することでオーガの回転速度を変えることができます。



シュータデフレクタ角度調整レバー

- 1 レバーを操作することで、手元で投雪距離を変えることができます。(5段階)



シュータ回転ボタン

- 1 ボタンを押すことで、手元で投雪方向を変えることができます。左ボタンを押すと左回転、右ボタンを押すと右回転をします。(可動範囲は200°まで)



バッテリーインジケータ

電源ボタンを押すと、バッテリーインジケータでバッテリーの残量をお知らせします。警告ランプが赤点滅した場合、バッテリーパックの消耗、高温、その他の異常が考えられます。バッテリーパックをすぐに取外して充電するか、バッテリーパックを冷却してください。



各部の取扱い

LED ライトボタン

- 1 バッテリーパックを挿入すると、電源ボタンを押さなくても LED ライトボタンを押すとヘッドライト・サイドライトが同時に点灯します。



- 2 LED ライトボタンをもう一度押すと消灯します。

警告

LED ライトが装備されていますが、暗闇を照らすものではありません。決して夜間の除雪作業は行わないでください。

注意

- LED ライトは、あくまで第三者に存在を知らせるものとしてお考えください。
- 約 1 分間他の操作をしないと、LED ライトは自動で消灯します。

ヒートハンドルボタン

- 1 バッテリーパックを挿入すると、電源ボタンを押さなくてもヒートハンドボタンを押すとハンドルが温かくなります。



- 2 ヒートハンドボタンをもう一度押すと停止します。

注意

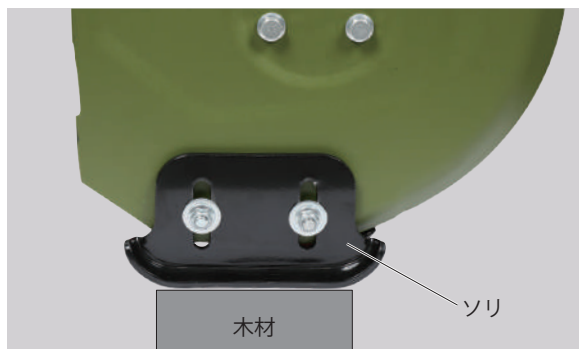
約 1 分間他の操作をしないと、自動で停止します。

各部の取扱い

ソリ

ソリは、高さを調整することで路面状況にあった除雪ができます。

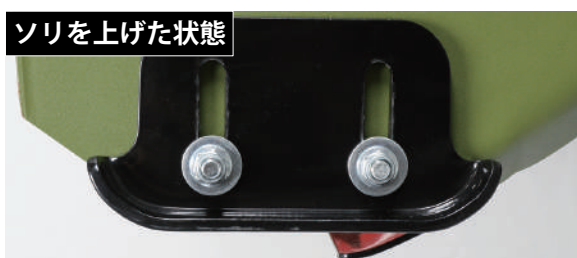
- 1 オーガハウジングの下に木材等を挿込み浮かせます。



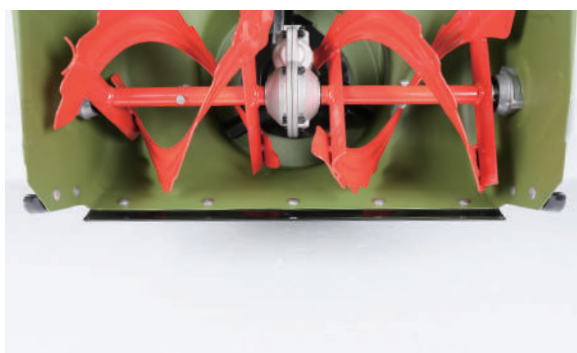
- 2 ソリのナットを 12mm のスパナやメガネレンチ等で緩め、湿った雪など状況により最適な高さに調整します。調整後はしっかり締付けます。



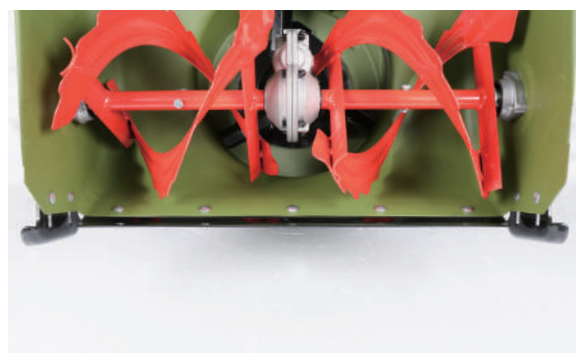
ソリを上げた状態



※写真では分かりやすいようにソリを最大まで上げていますが、本来はスクレパーブレードより下に来るようにしてください。



ソリを下げた状態



	オーガハウジング下端と路面の隙間
砂利などが多い路面	広くする
普通路	5mm 程度
圧雪路	狭くする

⚠ 注意

オーガハウジング下端と路面の隙間を狭くし過ぎると、スノーボードの摩耗が早くなったり路面を傷付けたりすることがあります。

運転操作の仕方

警告

- 身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- ご使用時は、使用者から 15m 内は危険です。人やペットが入らないようにしてください。
- 人にシュータやシュータデフレクタを向けないでください。また、除雪機の前方に人を入れしないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 砂利道は石が飛び出すなど危険です。除雪しないでください。
- 雪の中に石が混入していると遠くまで飛ぶ事があるので十分注意してください。
- オーガーやシュータやに顔や手足、衣服などを近づけないでください。
- 傾斜面を横切って除雪しないでください。
- 坂道での除雪や停車はしないでください。
- 可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。

除雪作業を行う前に、機能や操作方法を確実に覚えてください。

除雪機は正しく使用すればとても便利なものですが、操作を誤れば危険な機械にもなるということを十分ご理解ください。

前後進の方法

前進は無段階、後進は 1 段階の走行速度を変えることができます。

1 バッテリーパックを 1 個または 2 個セットします。

2 前後進速度調整レバーを低速にします。



3 ハンドルを押し下げ、オーガハウジングを地面より少し浮かせた状態にします。



4 右ハンドルをしっかりと握り、左の走行クラッチレバーを握ると前進します。体が置いていかれないようご注意ください。



5 左の走行クラッチレバーを放すと停止します。

6 前後進速度調整レバーを後進にします。



7 背後に障害物がないか確認をし、右ハンドルをしっかりと握り、左の走行クラッチレバーを握ると後進します。危険を感じたら走行クラッチレバーを放すと停止します。

8 繰り返し練習走行を行い慣れてください。

運転操作の仕方

9 前進低速・後進に慣れたら、前後進速度調整レバーを少し前に倒し走行練習をしてください。徐々に速度を上げてしっかりスピードに慣れてください。

10 スピードに十分慣れたら、走行しながら速度調整をする方法を覚えてください。

走行しながら速度調整をする方法

オーガハウジングを地面より少し浮かせた状態で行うため少し難易度が上がります。前項で十分練習をした後に行ってください。長距離を移動するときに便利な方法です。

1 バッテリーパックを1個または2個セットします。

2 前後進速度調整レバーを低速にします。

3 ハンドルを押し下げ、オーガハウジングを地面より少し浮かせた状態にします。

4 左の走行クラッチレバーを握ると前進します。その状態で右手で前後進速度調整レバーを前に少しずつ倒すと速度が徐々に上がっていきます。危険を感じたら走行クラッチレバーを放すと停止します。



5 この方法も繰り返し練習を行い慣れてください。

走行しながらの旋回方法

走行をしながら小回りで旋回ができます。

1 バッテリーパックを1個または2個セットします。

警告

- 走行速度は最低速度で旋回を行ってください。速いと体が置いていかれ危険です。
- 壁際に本機をぶつかけたり、操縦者が挟まれないよう十分な旋回するスペースを確保してください。

2 前後進速度調整レバーで低速にします。



3 ハンドルを押し下げ、オーガハウジングを雪面より少し浮かせた状態にします。



4 右ハンドルをしっかり握り、左の走行クラッチレバーを握ると前進し、旋回したい場所まで進んだら旋回方向に本機を動かすと旋回ができます。



運転操作の仕方

手押しによる旋回方法

動力を使わずにその場で小回り旋回ができます。

- 1 ハンドルを押し下げ、オーガハウジングを雪面より少し浮かせた状態にします。
- 2 その場で手動で旋回をします。例えば、左旋回する場合は左タイヤがロックされ、左タイヤを中心に旋回が簡単に行えます。右旋回の場合は右にハンドルを回すと右旋回が行なえます。

左旋回



除雪クラッチレバーのロック方法

- 1 走行クラッチレバーと除雪クラッチレバーを同時に握ると、除雪クラッチレバーが一時的にロックされ、右手を放してもオーガは回り続けます。この機能を使用すると、右手でオーガの回転速度、走行速度、投雪方向・角度の調整の操作が可能となります。



- 2 走行クラッチレバーを放すと、オーガの回転と走行機能の両方が停止します。

上手な除雪の仕方

■雪が降ったらその日のうちに

日をおくと、雪が固まったり、凍ったりし、除雪ができません。新雪のうちに除雪をするのがコツです。

■凍った雪は除雪しない

凍った雪、固まった雪、踏み固められた雪は除雪できません。

■除雪するスピードはゆっくり

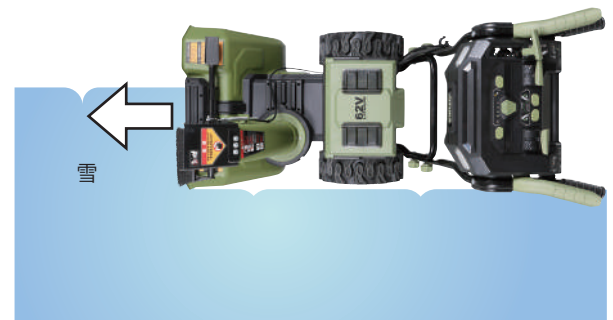
速すぎると雪が詰まりやすくなります。

除雪作業は、低速で「ゆっくり」行うのがコツです。走行速度が速すぎると、オーガハウジングに雪がいっぱいになり、投雪が間に合わず雪が詰まってしまいます。

①詰まりそうになったら一旦後進し、モーターの回転が安定してから前進すると、雪を詰まらせずに除雪することができます。



②オーガハウジングにかかる雪幅を狭くすると、除雪しやすくなります。



運転操作の仕方

適した雪質

本機は、固まった雪や重たい雪の除雪には不向きです。また、湿った雪の場合は、シュータに雪が詰まりやすくなります。

新雪	締まった雪	固まった雪	溶けかけの雪
◎	◎	◎	○

※締まった雪：1～2日置いた雪や屋根から落ちた雪

※固まった雪：除雪車が置いていった雪

除雪作業の仕方

⚠注意

- ・バッテリーを挿入する前に可動部が凍っていないか確認をしてください。
- ・バッテリーを挿入する際、雪が内部に入らないように十分ご注意ください。
- ・シュータの動きが固いときは、無理に回さずに、シュータの可動部に潤滑油を塗布してください。

- 1** バッテリー挿入口カバーを開き、満充電にしたバッテリーパックを1個または2個をセットし、バッテリー挿入口カバーを閉じます。

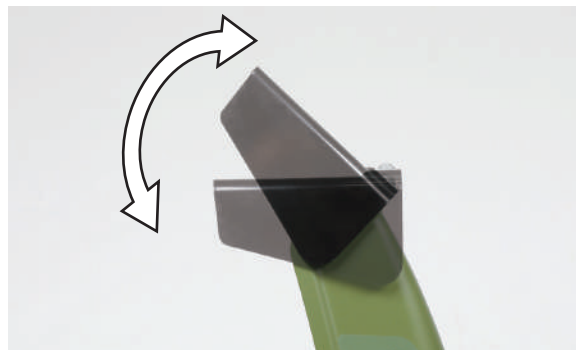


- 2** 雪が降っていたり、薄暗い場合にはLEDライトを点灯し、第三者に存在を認知させてください。

- 3** シュータ回転ボタンを押し、投雪方向を調整します。(可動範囲は200°まで)



- 4** シュータデフレクタ角度調整レバーを操作し、投雪距離を調整します。(5段階)



- 5** 前後進速度調整レバーを低速の位置にあることを確認します。



運転操作の仕方

- 6** オーガ回転速度調整レバー手前にし低回転にします。



- 7** 電源ボタンを押し ON にします。
※約 5 秒以内に操作をしないと自動的に電源が OFF になり、走行・オーガの操作が無効になります。



- 8** 右手で除雪クラッチレバーを握り、回転が安定したら、走行クラッチレバーを握ると前進します。



警告



走行クラッチレバー、除雪クラッチレバーを紐で縛ったり、クリップで固定したりしないでください。大変危険です。

- 9** この状態で除雪クラッチレバーから右手を放すと一時的に除雪クラッチレバーがロックされ、オーガは回り続けます。



- 10** 必要に応じて右手でオーガの回転速度、走行速度、投雪方向・角度の調整の操作をします。



- 11** 走行クラッチレバーを放すと、オーガの回転と走行機能の両方が停止します。

運転操作の仕方

除雪作業の終了

- 1 作業が終了したら、手押しまたは自走で安全な場所へ移動します。
- 2 バッテリーパックを抜取ります。バッテリーを抜かないと走行や LED ライトは有効のままになり、盗難や第三者による操作をされる恐れがあります。



⚠ 注意

バッテリーを取出す際、落下させないように十分ご注意ください。

- 3 作業終了後は、本体に付着した雪を取除き拭取ってください。特にオーガやオーガハウジング内、シュータには、多くの雪や泥などが付着しますので、エアツール等で付着物を吹き飛ばし、布で拭取ってください。

⚠ 注意

- 雪や水分が付着したままにすると凍結し、次回使用する時にすぐ使えなくなります。
- 屋外に保管する場合は、カバーなどをかけてください。
- 野ざらしにはしないでください。凍結、劣化により故障や本機の寿命を短くする恐れがあります。
- 水洗いは、絶対に行わないでください。故障の原因になります。
- プラスチック製部品やハンドルの清掃には、強力な洗剤や溶剤を使用しないでください。
- アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。故障・破損の原因になります。

- 4 ハンドル固定ノブやネジの緩み、破損部分がないか確認します。

- 5 バッテリーパックを満充電にします。

除雪中に減速、停止したら

バッテリーの消耗、除雪速度が速すぎる、異物や紐などの絡まり、詰まりが考えられます。

- 1 バッテリーの消耗の場合は、満充電のバッテリーパックに交換します。

⚠ 注意

- 減速を感じたら、左右のクラッチレバーを放し、バッテリーパックを取外し、充電をするか予備のバッテリーに交換してください。
- そのまま使用し続けると過放電になり、過放電を繰り返すと、バッテリーの寿命が短くなります。
- 連続運転をする場合は本機を 15 分程度休ませてください。

- 2 除雪速度が速すぎると、処理が追いつかずに詰まりやすくなります。減速を感じたら、一旦後進し、回転が安定したらまた前進をすると解消する場合があります。



- 3 異物や紐などが絡まっていたら、バッテリーパックを取外し、異物を取除きます。

- 4 シュータ内やブロー部分に雪が詰まっている場合はバッテリーパックを抜取り、雪かき棒で雪を取除いてください。

⚠ 警告

詰まりを取除く場合は必ずバッテリーパックを抜いてから行ってください。

⚠ 注意

詰まりを放置したまま使用を続けると、オーガやブローアの破損、故障の原因になります。

運転操作の仕方

☝ 雪が飛ばない場合

■雪が詰まっている

シュータから雪が飛ばない場合は、オーガハウジングやシュータ内に雪が詰まっている場合がほとんどです。その場合は、左右のクラッチレバーから手を放し停止させ、バッテリーパックを抜いてから、詰まった雪を雪かき棒で取除きます。



■雪が湿っている・重い雪

水分を多く含んでいる雪を除雪した場合、重みで遠くに飛ばずに、シュータデフレクタから「ドボドボ」と落ちる場合がありますが、異常ではありません。

■シャープピンが折れてなくなり、オーガが空回りし雪を掻き込まない

オーガやギヤに負荷がかかるとシャープピンが折れる仕様になっています。シャープピンが折れているとオーガが空回りし雪を掻き込むことができません。新しいシャープピンを取付けてください。

シーズンが終了したら

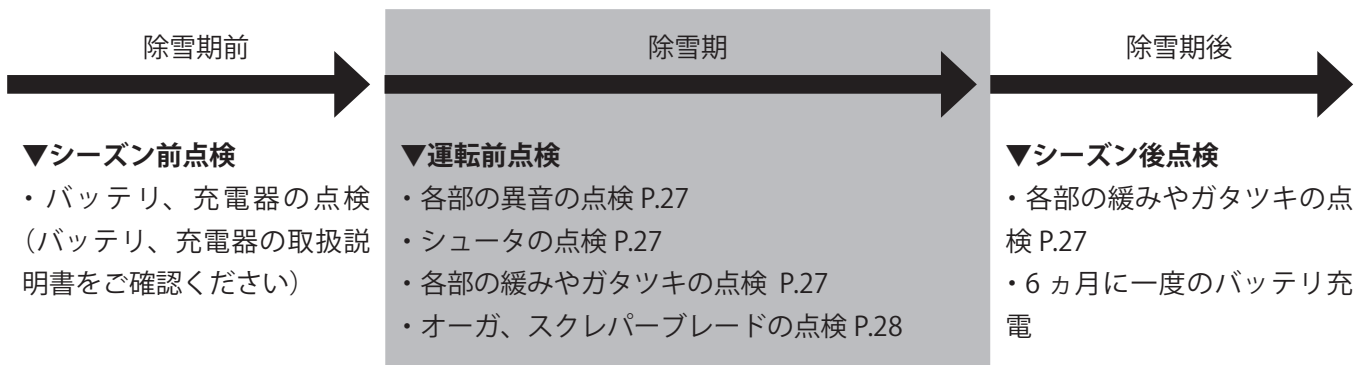
- 1 バッテリーパックを本体から抜取り、充電器で満充電にし、本体に挿込まずに保管してください。



- 2 本体のお手入れをし、湿気の少ない安全な場所に保管してください。(お手入れ・保管については P.30 参照)
- 3 長期間(6ヵ月以上)使用しない場合は、バッテリーパックを充電してから保管してください。

点検・整備の仕方

いつまでも安全にお使いいただくために定期点検を行ってください。



警告

- ・ 安全を確保し作業を行ってください。
- ・ 作業中に始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供やペットが近づかないよう配慮をお願いします。
- ・ 作業はバッテリーパックをバッテリー挿入口から抜いて行ってください。

注意

- ・ 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

各部の異音の点検

始動後、モーター、その他の部位から異音がないか点検します。異常がある場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

各部の緩みやガタツキの点検

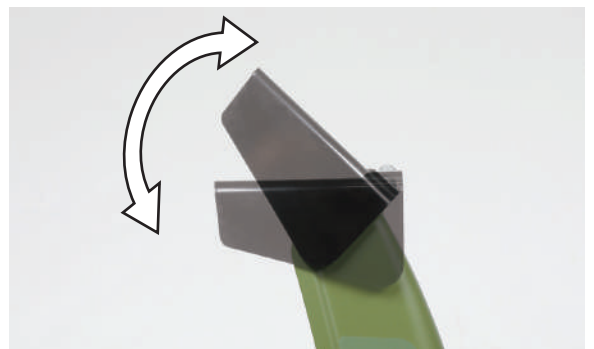
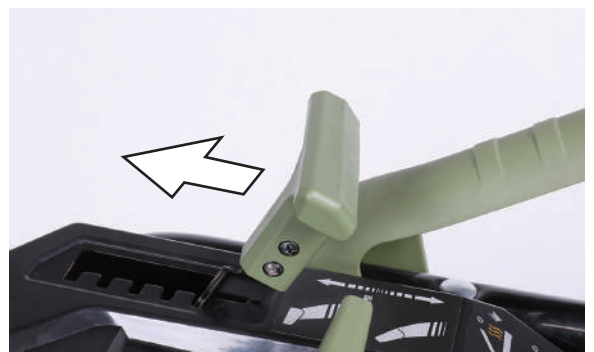
各部の緩みやガタツキがないか点検します。ハンドル固定ノブ、ボルト、ナット等の緩みであれば、締付けます。不具合の箇所が分からない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

各部の破損・欠落の点検

各部の破損や部品等の欠落がないか点検します。使用に支障を来たず破損がある場合は、修理をするまで使用しないでください。また、部品等の欠落がある場合はそのまま使用しないでください。

シュータの点検

- 1 シュータデフレクタ角度調整レバーを操作し、シュータデフレクタが5段階上下するか点検します。不具合がある場合は調整が必要です。



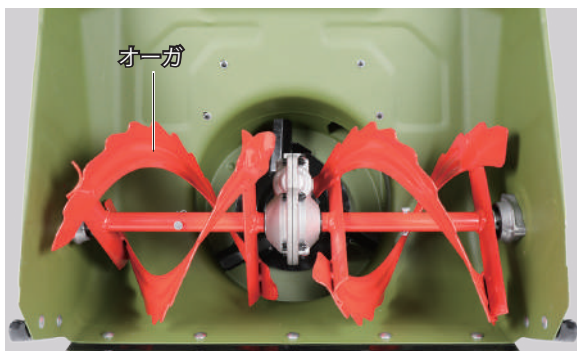
点検・整備の仕方

オーガの点検

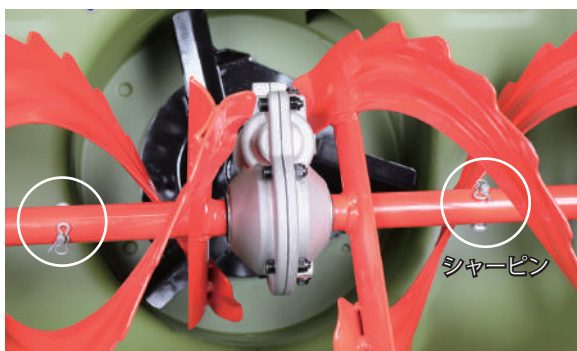


- 必ずバッテリーパックを抜取った状態で点検をしてください。
- オーガに触れる場合は、必ず厚手の手袋を着用で作業を行ってください。

- 1 オーガに破損や変形がないか確認します。



- 2 シャーピンが破損や変形、紛失していないか確認します。



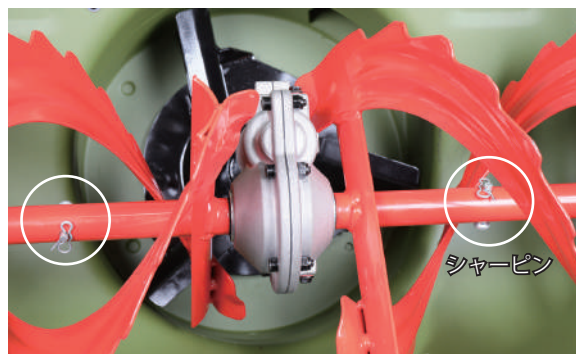
シャーピンの交換

使用中にオーガに負荷がかかると、オーガやギヤの破損を防ぐため、シャーピンが折れるようになっています。折れて紛失した場合は、新しいシャーピンを取付けてください。



- 必ずバッテリーパックを抜取った状態で作業を行ってください。
- オーガに触れることとなりますので、必ず厚手の手袋を着用で作業を行ってください。

- 1 シャフトとオーガの取付穴を合わせ、ボルトを通し、スナップピンで固定します。



点検・整備の仕方

スクレーパーブレードの点検・交換

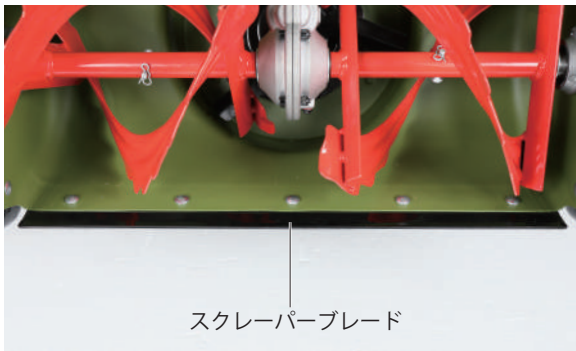
スクレーパーブレードは摩耗します。摩耗が激しい場合は交換をしてください。

■使用工具：12mm スパナまたはメガネレンチ



- 必ずバッテリーパックを抜取った状態で点検をしてください。
- オーガに触れることとなりますので、必ず厚手の手袋を着用で作業を行ってください。

- 1** スクレーパーブレード部分に破損や変形、摩耗がないか確認します。

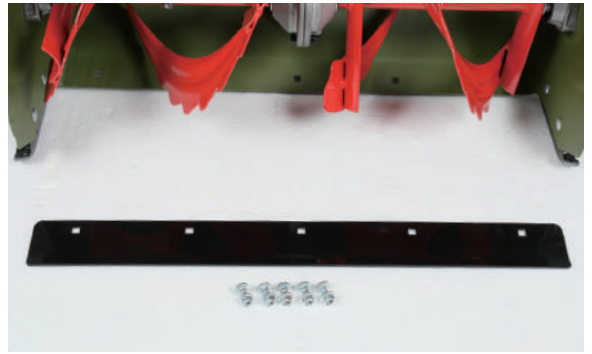


- 2** 摩耗が激しい場合や不具合がある場合はスクレーパーブレードの交換が必要となります。

- 3** 交換する場合は、底の部分から5ヶ所のフランジナットを12mmのスパナまたはメガネレンチで取外します。



- 4** ボルトを取外し、スクレーパーブレードを取外します。



- 5** 新しいスクレーパーブレードを取付けます。

- 6** 上からボルトを取付け、下からフランジナットを取付け、5ヶ所を均等に締付けます。

お手入れ・保管

お手入れ

バッテリーパックを取外した状態で行ってください。

- 1 本体が汚れた場合は、薄めた中性洗剤を使用し水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- 2 本体やオーガに付着した雪や泥などをきれいに取除いてください。特にオーガやオーガハウジング内、シュータには、多くの雪や泥などが付着しますので、エアツール等で付着物を吹き飛ばし、布で拭き取ってください。
次回気持ちよく使用できるように毎回お手入れをしてください。

注意

- 雪や水分は必ず取除いてください。凍結すると、次回使用したい時に動かなくなる可能性があります。また、故障の原因になります。
- 水洗いは、絶対に行わないでください。故障の原因になります。
- プラスチック製部品やハンドルの清掃には、強力な洗剤や溶剤を使用しないでください。
- アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。故障・破損の原因になります。
- オーガやオーガハウジング内をお手入れする場合は、必ず手袋を着用してください。

保管

- 1 保管する前に本機を清掃します。
- 2 本機を保管するときは、モーターが熱くなっていないことを確認します。
- 3 バッテリーパックは必ず抜き取り、除雪機と別の場所に保管してください。除雪機のバッテリーケース内に入れたまま保管はしないでください。
- 4 バッテリーパックは、自然放電をします。使用しない期間でも最低6カ月に1回は、満充電にしてください。
- 5 本機に緩んだり損傷した部品がないことを確認します。必要な場合は、以下を実行してください。
 - 損傷した部品を交換します。
 - ボルト、ネジ類を締めます。
- 6 本機を乾燥した場所に保管します。
- 7 お子様が本機に近づかないように注意してください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対処
作動しない	バッテリーパックを入れていない	バッテリーパックを入れる
	バッテリーが最後まで押込まれていない	バッテリーパックをカチッと音がするまで押し込む
	バッテリーが消耗している	バッテリーパックを充電・交換
	バッテリーが冷えすぎている	バッテリーと充電器を暖かい場所に運ぶ 充電器にバッテリーを挿し、バッテリーが室温になるようにする
	本体・モーターの過熱	温度が下がってから電源を入れ直す
	オーガが凍結している	解凍してから使用 ※お湯などをかけないでください
除雪作業をすると 停止する または止まりそうになる	異物や紐などが絡まっている	バッテリーパックを取外し、異物や紐などを取除く
	オーガやオーガハウジング内、シュータに雪が詰まっている	バッテリーパックを取外し、詰まりを取除く
	速度が速すぎる	低速にする
	モーターに負荷がかかっている	本機を雪から一旦離す
	バッテリーパックまたは本体が熱くなっている	約 10 分間冷却
	バッテリーパックが本体から外れている	バッテリーパックを再度取付ける
	バッテリーが消耗している	バッテリーパックを充電
雪が飛ばない	雪が重たい、硬い	本機では除雪はできません
	雪が詰まっている	バッテリーパックを抜いた状態で雪かき棒で雪を取除く
	シャープの紛失	バッテリーパックを抜いた状態で新しいシャープを取付ける
オーガが回らない	電源ボタンを押していない	電源ボタンを押し 5 秒以内に操作をする
	シャープが破損し、オーガが空回りしている	バッテリーパックを抜いた状態で新しいシャープを取付ける
雪の層が残る	ソリが下がりすぎている	ソリを上げてオーガハウジング下端と雪面の隙間を狭くする
	スクレーパーブレードの変形、破損、摩耗している	交換

消耗品・部品一覧

商品名	商品コード	
シャーペンセット (4本セット)	ys-gmp021n	
ソリ	ys-gmp010n	
ソリ固定ボルト・ナット・ワッシャ (1個セット)	ys-gmp011n	
ハンドル固定ノブ	ys-gmp001n	
ハンドル固定ボルト	ys-gmp002n	
雪かき棒	ys-gmp012n	
スクレーパーブレード	ys-gmp022n	
スクレーパーブレード固定ボルトナット (1個セット)	ys-gmp023n	
バッテリーパック 62V 8.0Ah	GMA531	
充電器	GMA594	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品・部品をご注文の場合は、下記各サイトよりご注文ください。



本店サイト
<https://www.haigeshop.net/>



楽天サイト
<https://www.rakuten.co.jp/haige/>



ヤフーサイト
<https://store.shopping.yahoo.co.jp/haige/>

※電話やFAXでのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付けておりません。
 ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等）
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺いし、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガーまたは販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。



⑤お見積り提示。

⑧送料お客様ご負担で、故障部品を発送いたします。

ハイガー

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様



①故障の状況をメールでご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。



⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認
- ④故障装置の修理

*1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

■保証適用について■

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的による破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■保証期間について■

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく商品発送日より7日以内とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。



.....
年中無休受付
.....
※年末年始等除く

カスタマー・サポート・センター
お問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。

販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガーは、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書は、製品製造時の最新版を同梱していますが、内容は随時改訂していますので、
最新版は以下のサイトよりご確認ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、
下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。

HAIGE

〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1

ハイガーオフィシャル 検索

<https://haige.jp/>



年中無休受付

※年末年始等除く



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>

